

いよいよ高校生活が始まります。

文責 学校長



~今日から夢をつかむ1000日の旅(修行)の始まりです。~

さあ、高校生活が始まりました。いよいよ武雄高等学校での高校生活(1000日の旅)のスタートです。武陵の地に集った新入生ひとり一人が、一日一日を大切に、それぞれの「夢を探し」(1年生)、「夢を温め」(2年生)、そして「夢の扉を開く」(3年生)ことのできる3年間になることを期待しています。自分の可能性を信じ、そして何よりも自分の努力を信じて、共に励まし、共に競い合いながら夢実現のその日まで頑張りましょう。

1 校是「質実剛健・報恩感謝」について

武雄高校には「校訓」ではなく「校是」として「質実剛健」「報恩感謝」という言葉があります。「校是」とは「学校で、教育上の根本精神として定められた事柄。また、それを表わす標語。」のことです。正しくは「質実剛健にして、報恩感謝の誠を尽くす」と教えられてきました。亡くなった前同窓会長の石井義彦氏の話によれば、その由来は、旧制武雄中学時代に遡り、昭和16年に校舎が全焼し、当時の婦人会(?)の人々の「1銭貯金(募金)」のお蔭で翌年には校舎が再興されたという歴史に基づいていると記憶しています。(もし違っていたらどなたか教えてください。)旧制中学校は男子校であったことから元々「質実剛健」な校風で、校舎再建の折、地元の人々に支えて頂いた恩に心を尽くして報いようという精神からきている言葉のように思います。新入生の皆さん、一日一日を「質実剛健」な気風で目標に向かって「一心不乱」に精進し、地域や社会に「報恩感謝」することのできる人財となることを期待します。

2 学校教育目標(スクール・ミッション)

『高い志と未来を切り拓く力を持ち、多様な人々と協働しながら、持続可能な社会の実現を目指して、地域や国際社会が抱える課題解決に向けて主体的に行動できる人間性豊かな人材を育成する。』

3 今週の名言...後藤静香の詩「第一歩」から

十里の旅の第一歩 百里の旅の第一歩 同じ一歩でも覚悟がちがう
三笠山に登る第一歩 富士山に登る第一歩 同じ一歩でも覚悟がちがう
どこまで行くつもりか どこまで登るつもりか
目標が その日その日を支配する 後藤静香(ごとう せいこう)の詩より

【後藤静香について】明治17年、大分県大野町に生まれる。明治39年東京高等師範学校官費数学専修科を卒業し、長崎県立長崎高等女学校及び香川県女子師範学校に歴任すること13年。大正7年上京、全日本を対象として社会教育に専念し、月刊誌の発行、著作、講演等により、終始一貫、初志の貫徹に努むること50年に及ぶ。昭和44年没。昭和53年、多数の著作が「後藤静香選集」全10巻にまとめられた。著書にはほかに、「楽園」「生きる悦び」「道のしるべ」がある。(参考:「BOOK 著者紹介情報」より)

4 今週の話成語...「之を知る者は、之を好む者に如かず、之を好む者は、之を楽しむ者に如かず」【問題】英語で表現すると?

知る者は、好んでやる者には及ばない。更に好んでやる者は、楽しんでやる者には及ばない。(出典:『論語』雍也篇より)

【由来】漢文における、比較の文章です。「知るよりは、好き、が上。好きより、楽しんでの方が上。」という意味。「及ばない」というのは、かなわないと言うこと。知っている人よりも、それを好きだなあ、って思っている人の方が物事の上達が早く、更に上なのは楽しんでいる人達が、1番だという孔子の言葉。学問において、最強の勉強法は「楽しむ」ことだと、勧めているのです。

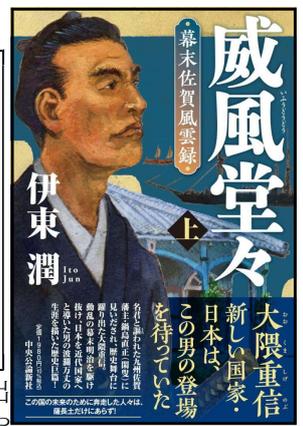
5 入試によく出る漢字(その26)...センターテスト(2014年度追試験)に挑戦!

- (1) 闘いを忖でているわけである。〔①世のフウチョウを憂える。②高原のセイチョウな空気。③チョウバツを加える。④不吉なことが起きるゼンチョウ。⑤対戦相手をチョウハツする。〕
- (2) 覚醒をウナガさねばならない。〔①対応がセツソクに過ぎる。②スイソクの域を出ない。③原稿をサイソクされる。④体育でソクテンを練習する。⑤ショウソクを尋ねる。〕
- (3) 彼らをツイキウし撃破しようとするわけだ。〔①庭にキウコンを植える。②においをキウチャクさせる。③不安が全体にハキウする。④フキウの名作を読む。⑤会議がフンキウする。〕
- (4) コンピュータの夢のレイでしかないのに対して、〔①ヒレイな行為をとがめる。②レイミョウな響きに包まれる。③安全運転をレイコウする。④バレイを重ねる。⑤封建領主にレイゾクする。〕
- (5) 対独戦争の単独即時テイセンを決断した。〔①記念品をシンテイする。②条約をテイケツする。③梅雨前線がテイタイする。④国際平和をテイショウする。⑤敵の動向をテイサツする。〕

6 今週の一冊・・・伊東潤の『威風堂々』・上巻 (中央公論新社) です。

天保九年(一八三八)二月一六日。九州の佐賀城下にひとりの男子が誕生した。幼名を八太郎。後の大隈重信である。名君と謳われた佐賀藩主鍋島直正(閑叟)に、その才能を見いだされ、同じく熱い志を持つ仲間たちと、激動の幕末へ乗り出した若き重信。西郷隆盛、大久保利通、坂本龍馬、岩崎弥太郎をはじめ錚々たる志士たちと巡り会い、佐賀の、そして日本の未来のために奔走する! 近代国家・日本の礎を築いた偉人の生涯を描く!

(参考:本書裏表紙解説より)



【解説】佐賀新聞に連載されていた伊藤潤先生の新説小説『威風堂々』が、ついに書籍として出版されました。佐賀県人必読の一冊です。これまでも司馬遼太郎の『アームストロング砲』や『歳月』で幕末維新期の佐賀藩の活躍は断片的に描かれてはいましたが、大隈重信を始めとして佐賀の七賢人の活躍がリアルに描かれています。NHKの大河ドラマになることを期待したいドラマ性溢れる作品となっています。上巻は佐賀を舞台として若き日の大隈が長崎に出かけ、岩崎弥太郎や坂本龍馬と出会うシーンもリアルに描かれておりワクワク感溢れる作品となっています。武雄温泉も藩主・鍋島直正の病氣療養地として登場します。新年度第一冊目として次号(下巻)と合わせて紹介します。

【作者・伊東潤について】1960年、神奈川県横浜市生まれ。早稲田大学卒業。外資系企業に勤務後、経営コンサルタントを経て2007年、『武田家滅亡』でデビュー。『黒南風の世界——加藤清正「文禄・慶長の役」異聞』で「第1回本屋が選ぶ時代小説大賞」を、『国を蹴った男』で「第34回吉川英治文学新人賞」を、『巨鯨の海』で「第4回山田風太郎賞」と「第1回高校生直木賞」を、『峠越え』で「第20回中山義秀文学賞」を、『義烈千秋 天狗党西へ』で「第2回歴史時代作家クラブ賞(作品賞)」を受賞。著作多数。近著は『夜叉の都』。

7 世界遺産を巡る・・・第51回はアレキパ市歴史地区(ペルー)

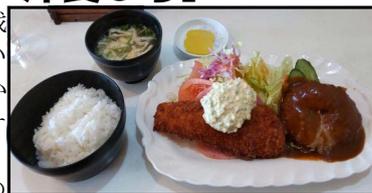
(登録:2000年)

【解説】アレキパ(Arequipa)は、ペルー共和国南部にある同国第2の都市。人口は約90万人。アレキパ県の県都である。アレキパの名前の由来は皇帝がケチュア語で人々に"Ari qhipay"(ここに住みなさい)と言ったことからきています。アレキパのセントロにある建物は近郊で採れる白い火山岩から造られているため"Ciudad Blanca"(白い町)と呼ばれています。ペルーの南部にあるアレキパ市は、インカ帝国時代の歴史が残る風情ある都市です。街の建物は、イギリス、スペイン、オランダが融合したコロニアルスタイルと呼ばれる建築様式に、石灰岩の白がアレキパ独自の雰囲気を作り出しました。2000年には「アレキパ市の歴史地区」として世界遺産に登録されています。そんな魅力溢れるアレキパ市の広場に植えられている熱帯植物や、ライトアップされた街並みは癒される風景です。現在はペルー南部の商業の中心地となっています。市内最大のみどころは1579年に建てられたサンタ・カタリナ修道院です。外部は白い壁で囲まれ、1970年まで外界との接触を断った修道生活が営まれていました。ひんやりとした内部は迷路のように回廊が巡らされ、当時の家具や幾世紀にもわたって収集された美術品が展示されています。



8 街角グルメを訪ねて・・・第51回は諸富町の「洋食ひろ」です。

諸富町体育館にバスケットボール部の新人戦決勝リーグを観戦に言ったときに立ち寄ったお店です。ご夫婦で切り盛りされているアットホームな洋食屋さんです。国道に面したお店で家賃がかかっているのか、料金はやや高めでした。この日はB定食(サケフライ・ハンバーグ・ロースハム)1400円を注文しました。チキンカツ定食だと880円です。ご夫婦お二人でされているので、料理が出てくるまでに少し時間はかかりますが、ハンバーグもサケフライも絶品でした。特に、サケフライはサケの風味がフライの衣の中に閉じ込められており、焼き魚として食べるより数段美味いと感じました。諸富の国道沿いには他にも美味しそうな店がたくさん並んで建っていますので、開拓の余地はまだありそうです。



9 保護者の皆様へ・・・校長通信『校長室の窓から』について

母校・武雄高校の校長として3年目を迎えました。武高33回卒(S56年卒)です。母校の後輩諸君のために精一杯頑張りたいと思います。よろしくお願ひします。毎週ご家庭にこの『校長通信』を配付し、**知育**(「今週の話成語」・「入試に出る漢字」・「今週の一冊」など)、**徳育**(「今週の名言」)、**体育**(部活動等の活躍)、そして**食育**(「街角グルメを訪ねて」)の観点から様々な情報を提供していきます。親子での話題の種にさせていただければ幸いです。また、本日から高校生活が始まりました。お子様が高校生活のいいスタートを切れますように温かくご家庭から送り出してください。「行ってらっしゃい」「お帰りなさい」の一声と毎晩の**コーヒー1杯**の差し入れを夢の扉が開くその日までよろしくお願ひいたします。また、**朝ごはん**と**昼食のお弁当の準備**もどうぞよろしくお願ひします。皆様の支えが不可欠です。

【英語】◇ To like is better than to know. To enjoy is better than to like.

◇ One who knows is no match for one who likes. One who likes is no match for one who enjoys.

◇ One who only knows it is no match for one who likes it. One who only likes it is no match for one who enjoys it.

◇ They who know the truth are not equal to those who love it, and they who love it are not equal to those who delight in it.

【正解】(1)挑[風潮・清澄・懲罰・前兆・挑発](2)促[拙速・推測・催促・側転・消息](3)追及[球根・吸着・波及・不朽・紛糾](4)奴隸[非礼・靈妙・勵行・馬齡・隸屬](5)停戦[進呈・締結・停滯・提唱・偵察]